

## B - 3 . 接続方法

前述 B - 2 . システム構成のとおり接続の設定を行ったうえで、PATOLIS-Web、C/W、C/T に接続します。

### B - 3 - 1 . ユーザー ID とパスワード

PATOLISに接続するためには、ユーザーID、パスワード、ユーザーコードの入力が必要です。

ユーザーID (User ID、UIDと略記) とパスワードは、PATOLISサービスを利用する際に鍵の役割を果たすもので、銀行のキャッシュカードにおける口座番号と暗証番号の関係と同じと言えます。端末から入力されたUIDとパスワードの組合せがPATOLISシステムにあらかじめ登録されているデータと一致すれば、PATOLISへの接続が認められ、一致しない場合は接続が認められません。

UIDとパスワードが一致してPATOLISのサービスが開始された後の利用料金は、全て自動的に、使用されたUIDに対して課金されます。従って、もしUIDとパスワードの組合せが他人に知られてしまい、PATOLISを不正使用されると、ご自分の利用でなくても、その使用料金が請求されることになります。

このように、UIDとパスワードはPATOLISご利用の際の重要な鍵となるものですから慎重な取り扱いが必要です。

#### ( 1 ) UID

UIDは、PATOLIS登録時に(株)パトリスがご利用者固有のものを設定、発行します。登録後の利用料金の請求、また各種の連絡等につきましては、全てUID単位で行いますのでUIDを確認のうえ、お問い合わせください。

#### ( 2 ) ログオンパスワードとマスターパスワード

(株)パトリスが発行するUIDに対応し、ご利用者自身が設定するPATOLIS接続のための暗証番号です。このパスワードには、PATOLIS接続用のログオンパスワードとログオンパスワードの変更・回答様式の保存・回答出力のオプション設定等のために使用するマスターパスワードの2種類があります。マスターパスワードは、ご利用者からの書面による申し込みに基づき、(株)パトリスが登録します。ログオンパスワードは、サービススタート時にはマスターパスワードと同じデータが設定されますが、その後はオンラインにより、ご利用者自身の操作で自由に変更することができます。

#### ( 3 ) ユーザーコード

ユーザーコード (USER-CODE) は入力必須で、利用者が任意に1～8文字の英数字を指定します。毎月のPATOLIS使用料金内訳表は、ユーザーコードごとに小計がとられます。また、オフライン出力回答書やファクシミリ出力回答書の表紙にもユーザーコードが出力されますので、ユーザーコードを担当者ごとまたは部署ごとに決めて利用されますと便利です。

## B - 3 - 2 . 接続と終了 - PATOLIS-Web

### ( 1 ) 接続と終了 ( PATOLIS- Web )

PATOLIS-IV ホームページから接続します。

PATOLIS- ホームページのURLは次のとおりです。

インターネット接続の場合 URL “ http://www.p4.patolis.co.jp ”  
PATOLIS ネットワーク接続の場合 URL “ http://www.p4.patolis ”

メニューから「PATOLIS-Web」をクリックします。  
PATOLIS-C/W にも同じ画面から接続します。

PATOLIS-Webオンライン接続 ( LOGON ) 画面

The screenshot shows the PATOLIS-Web online connection (LOGON) screen in Microsoft Internet Explorer. The page title is "PATOLIS-IV PATOLIS-Web オンライン接続". The form contains the following fields and options:

- USER-ID (半角英数大文字): UKS0001
- PASSWORD (半角英数大文字): \*\*\*\*\*
- USER-CODE (任意の半角英数字8文字以内): DEMO
- Buttons: 再接続 (checked), 再接続 (unchecked)
- Radio buttons:  SSL,  非SSL
- Buttons: 接続開始, 再セット
- Checkboxes:  保存する

Callouts provide the following instructions:

- 「接続開始」ボタンをクリックすると PATOLIS-Web に接続します。
- チェックボックスをクリックすると、USER-ID、PASSWORD、USER-CODE をパソコン内に保存し、次回から入力を省略することができます。(Internet Explorer を利用した時に限られます)
- 「SSL」(セキュア ソケット レイヤ通信内容を暗号化します) または「非 SSL」を選択します。PATOLIS ネットワークを利用する場合は「非 SSL」を選択します。
- 一時退避や回線切断で再接続を行う場合は、チェックが必要です。注
- USER-ID (半角英数大文字)  
PASSWORD (半角英数大文字)  
USER-CODE (8桁以内の半角英数字) を入力します。

注

「再接続」には通常、チェックが入っています。「再接続」を解除して接続したい場合は、チェックを外して接続してください。

PATOLIS-Web 接続後の画面

**メニューフレーム**  
モードやメニューを選択します。

**メインフレーム**  
検索式の入力や検索結果の出力等を行います。

**メッセージフレーム**  
検索の処理状態や集合ができたことを表示します。

**サブフレーム**  
画面表示の指示、履歴やヘルプの表示に用います。接続時には「ファイル情報」が表示されます。

PATOLIS終了 (LOGOFF) 画面

**メニューフレームの「PATOLIS 終了」をクリックします。**

**さらに「PATOLIS 終了」をクリックします。**

**一時退避 (後述) を行う場合は、「PATOLIS 終了および一時退避」をクリックします。**

セッション料金表示画面

PATOLIS-Web にはログ保存機能はありません。出力結果はプリント等による保存をお願いします。

PATOLIS オンラインサービス終了		2007/01/15 17:10:26	
セッション料金には消費税は含まれていません。			
ユーザID	UKS0001	セッション時間	2007/01/15 17:09:07 - 2007/01/15 17:10:26
ユーザコード	DEMO	セッション料金	1,450 円
<b>&lt;&lt;合計&gt;&gt;</b>			
検索料金	225 円	オンライン出力料金	1,225 円
オフライン出力料金	0 円	オフライン発送手数料	0 円
公報出力料金	0 円	公報発送手数料	0 円
電子データ出力料金	0 円	メール/ダウンロード手数料	0 円
登録保存料金(前除分)	0 円	キャンセル料金	0 円
キャンセル手数料	0 円		

(2) 一時退避と再接続 (PATOLIS-Web)

PATOLIS利用中に操作を中断する必要が発生した場合、利用者が一時退避操作を行うことにより3時間、そのセッションの履歴を保存します。

その後、再接続の操作を行うことにより、一時退避させたセッションを活かして操作を続けることができます。

再接続の際は、PATOLIS-Webオンライン接続 (LOGON) 画面の「再接続」のチェックボックスにチェックが入っていることを確認します。

【注意】

- ・ PATOLIS-Web、C/W、C/Tのサービスをまたがっての再接続はできません。
- ・ PATOLIS-Webの外国特許・対応特許検索の再接続はできません。
- ・ 「再接続」にチェックをつけずに接続すると、保持していた全履歴情報はクリアされます。

PATOLIS終了 (LOGOFF) 画面

メニューフレームの「PATOLIS 終了」をクリックします。

一時退避 (後述) を行う場合は、「PATOLIS 終了および一時退避」をクリックします。

セッション料金表示画面

一時退避を行った場合、料金表示の後に「一時 LOGOFF を受け付けました。」とメッセージが表示されます。

PATOLIS-Webオンライン接続画面

一時退避や回線切断で再接続を行う場合は、「再接続」にチェックが入っていることを確認します。

ユーザーコードは前セッションと同一でなくても結構です。

「接続開始」ボタンをクリックすると PATOLIS-Web に接続します。

再接続後の画面

一時退避前の履歴を確認するためには、メニューフレームの「右フレーム表示切替」または、「補助 - 集合履歴一覧」をクリックします。  
(詳細はC-8-2.履歴表示 をご参照ください)



「右フレーム操作 検索一覧表示」をクリックすると、画面の右側(サブフレーム)に一時退避前の履歴が表示されます。



「補助 - 集合履歴一覧」をクリックすると、メインフレームに一時退避前の履歴が表示されます。



一時退避前と同じ操作で集合を利用できます。

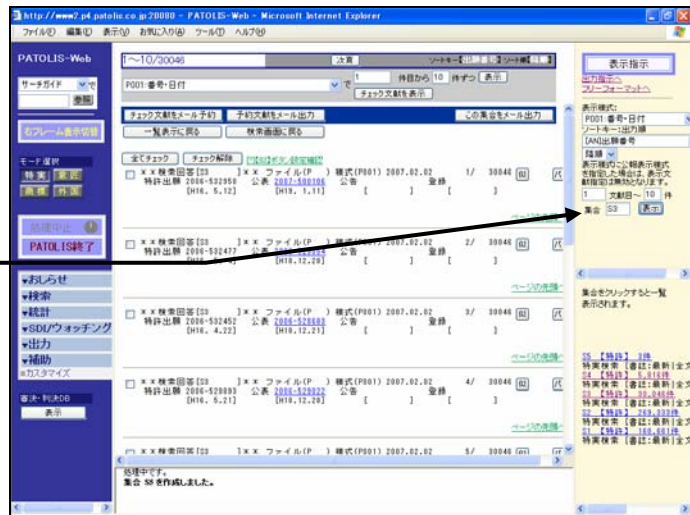
一時退避前の集合と他の条件を組合わせて検索できます。

検索項目「集合・保存集合・保存論理式」を選択し、検索論理式欄に集合番号を入力します。  
(集合を用いた検索の詳細は、C-2-2-13. 回答集合を利用した検索 をご参照ください。)



一時退避前の集合を出力できます。

集合番号をサブフレームに入力し、「表示」ボタンをクリックすると、メインフレームに出力できます。(出力方法の詳細はC-6. 出力機能 をご参照ください。)



履歴が保持されなかった場合の画面

一時退避後 3 時間を超えた場合や、一時退避を選択していなかった場合、回線切断後 10 分を超えた場合等、履歴が保持されなかった場合は「ON141W 利用可能な再接続情報はありません。」等のメッセージが表示されます。



### (3) 回線切断後の再接続 (PATOLIS- Web)

通信回線の障害や、誤ってブラウザを閉じたことなどにより、突然接続が切れたときは、約3分後にPATOLIS側が異常終了を認識してセッション終了を行い、そのセッションの履歴を10分間保存します。

PATOLISによるセッション終了が行われる前にPATOLISに接続しようとする、「ON397E THIS USER-ID IS ALREADY USED.」のメッセージが表示されます。時間を置いて再度、接続操作をしてください。

切断する前に作成した検索結果集合や履歴を使って続きの操作を行うには、PATOLISによるセッション終了から10分以内に再接続操作を行います。

再接続の際は、PATOLIS-Webオンライン接続 (LOGON) 画面の「再接続」のチェックボックスにチェックが入っていることを確認します。

再接続後の操作は、一時退避後の再接続と同じです。(2)一時退避と再接続 をご参照ください。

#### 【注意】

- ・PATOLIS-Web、C/W、C/Tのサービスをまたがっての再接続はできません。
- ・PATOLIS-Webの外国特許・対応特許検索の再接続はできません。
- ・「再接続」にチェックをつけずに接続すると、保持していた全履歴情報はクリアされます。

### PATOLIS-Webオンライン接続 (LOGON) 画面

The screenshot shows the PATOLIS-Web online connection (LOGON) screen in Microsoft Internet Explorer. The page title is "PATOLIS-IV PATOLIS-Web オンライン接続". The form includes fields for "USER-ID(ユーザID)", "PASSWORD", and "USER-CODE(任意の半角英数字の文字列)", along with a "再接続" (Reconnect) checkbox. Below the form are radio buttons for "SSL" and "非SSL". A "接続開始" (Start Connection) button is visible. The page also contains a "動作確認済みのブラウザ" (Supported Browsers) section with a table and a "お知らせ" (Notice) section on the right.

Annotations on the screenshot:

- 一時退避や回線切断で再接続を行う場合は、「再接続」にチェックが入っていることを確認します。
- ユーザーコードは前セッションと同一でなくても結構です。
- 「接続開始」ボタンをクリックすると PATOLIS-Web に接続します。

OS・ブラウザ	Internet Explorer	5.0	5.5	8.0	4.7	8.0	7.0
Windows95							

## B - 3 - 3 . 接続と終了 - PATOLIS- C/W

### ( 1 ) 接続と終了・ログの保存 ( PATOLIS- C/W )

#### 1 ) 接続と終了

PATOLIS-IV ホームページから接続します。

PATOLIS- ホームページのURLは次のとおりです。

インターネット接続の場合 URL “ http://www.p4.patolis.co.jp ”

PATOLIS ネットワーク接続の場合 URL “ http://www.p4.patolis ”

メニューから「PATOLIS-C/W」をクリックします。

PATOLIS-Web にも同じ画面から接続します。

PATOLIS-C/Wオンライン接続 ( LOGON ) 画面

The screenshot shows the PATOLIS-IV online connection (LOGON) screen. The form includes fields for USER-ID (UKS0001), PASSWORD (\*\*\*\*\*), and USER-CODE (PATOLIS). There are buttons for '接続開始' (Start Connection) and 'リセット' (Reset), and a '再接続' (Reconnect) checkbox. Radio buttons for 'SSL' and '非SSL' are also present. Callout boxes provide instructions: 1. 'USER-ID (半角英数大文字), PASSWORD (半角英数大文字), USER-CODE (8桁以内の半角英数字) を入力します。' 2. 'チェックボックスをクリックすると、USER-ID、PASSWORD、USER-CODE をパソコン内に保存し、次回から入力を省略することができます。(Internet Explorer を利用した時に限られます)' 3. '「再接続開始」ボタンをクリックすると PATOLIS-C/W に接続します。' 4. '一時退避や回線切断で再接続を行う場合は、チェックが必要です。注' 5. '「SSL」(セキュア ソケット レイヤ-通信内容を暗号化します) または「非 SSL」を選択します。PATOLIS ネットワークを利用する場合は「非 SSL」を選択します。'

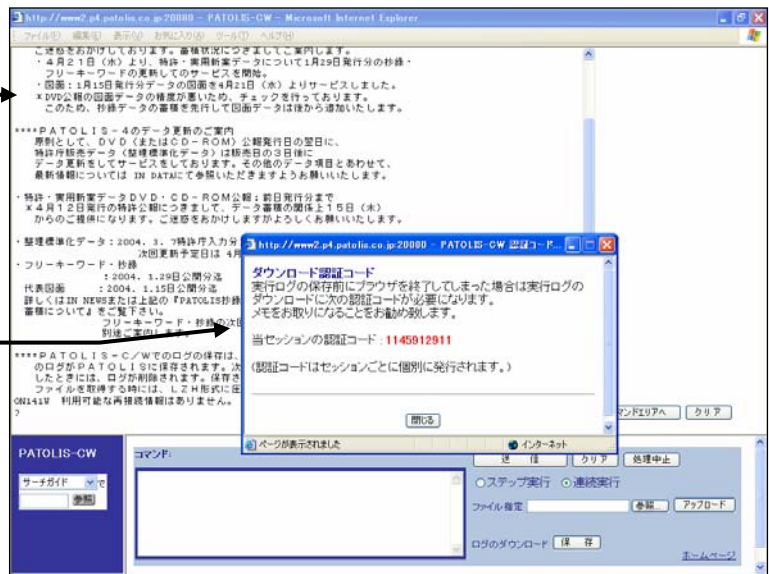
注

「再接続」には通常、チェックが入っています。「再接続」を解除して接続したい場合は、チェックを外して接続してください。

PATOLIS-C/W接続後の画面

ブロードキャストメッセージ  
お知らせが表示されます。

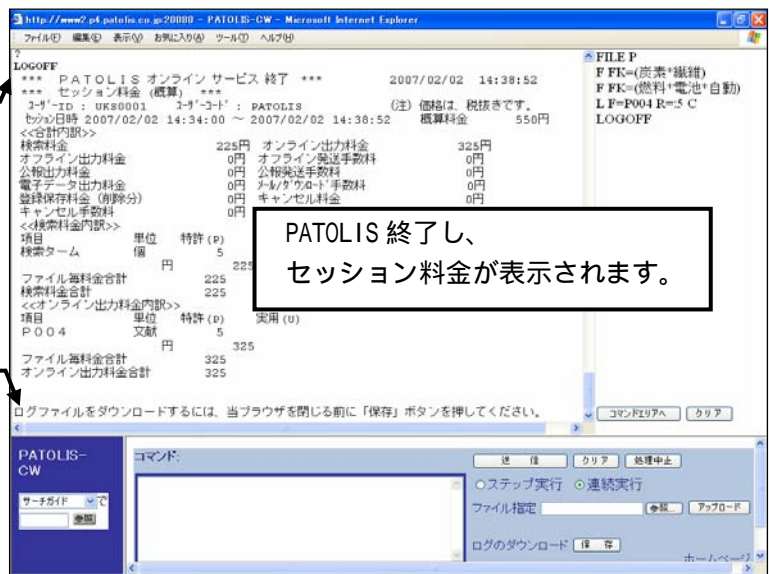
「ダウンロード認証コード」  
が表示されます。  
利用方法は「直前のセッシ  
ョンログのダウンロード」(後  
述)参照。



終了

「LOGOFF」と入力し、  
「送信」をクリックします。

LOGOFF 後、セッション全体の  
ログを保存できます。



## 2) ログの保存

PATOLIS-C/W では、LOGOFF または強制終了の後、セッションのログが PATOLIS 側に保存されます。次の接続(後述の「再接続」も含まれます)があったとき、または、終了後 30 分経過したときには、ログが削除されます。

保存されるファイルは HTML 形式です。

ファイルを取得するときには LZH 形式に圧縮されています。

LOGOFF 直後にログをダウンロードする

LOGOFF 後、  
ログのダウンロード「保存」ボタンをクリックします。

項目	単価	特許 (P)	実用 (U)
P004	文庫	5	325
ファイル毎料金合計			325
オンライン出力料金合計			325

ログファイルをダウンロードするには、当ブラウザを閉じる前に「保存」ボタンを押してください

コマンド:  
ログのダウンロード **保存**

ファイルを保存します。  
(操作はブラウザによります。)

このファイルを開くか、または保存しますか?

名前: UKS000120070202143400.lzh  
種類: 不明なファイルの種類, 127 KB  
発信元: www.p4.patolis.co.jp

開く(O) 保存(S) キャンセル

インターネットのファイルは役に立ちますが、ファイルによってはコンピュータに問題を  
起こすものもあります。発信元が信頼できない場合は、このファイルを開いたり保  
存したりしないでください。危険性の説明

LZH 形式で圧縮されたファイル  
が保存されます。

ログ

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

ファイルとフォルダのタスク

その他

詳細

UKS\_20070202143400.lzh  
LZH ファイル  
7 KB

LZH形式で圧縮されたファイルを解凍ソフトで解凍します。解凍されたファイルのHTMLファイルをクリックして開きます。

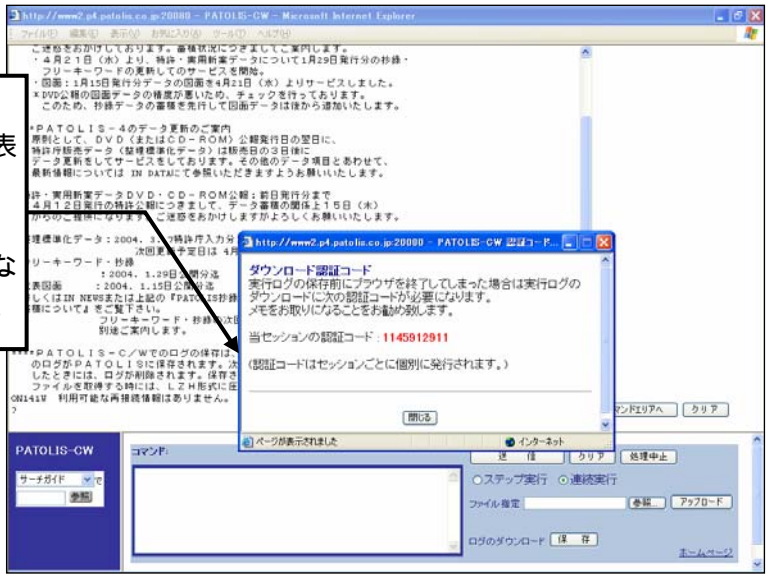


保存されたログが表示されます。



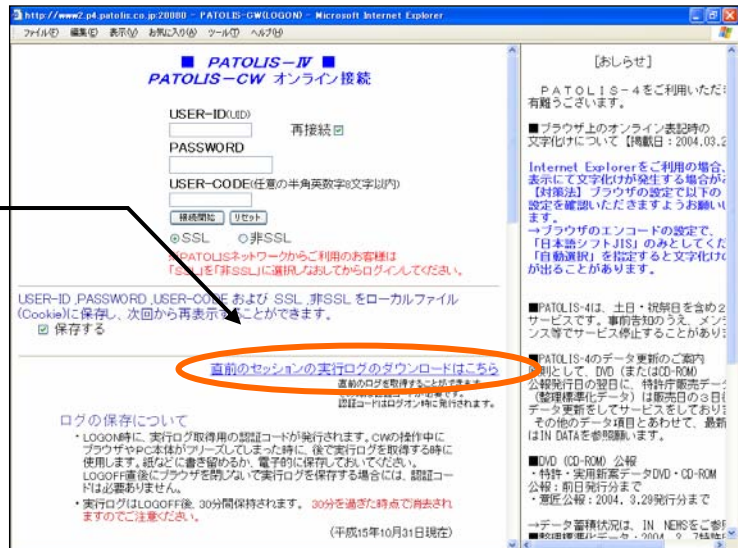
認証コードを使って直前のセッションの実行ログをダウンロードする  
LOGOFF直後にセッションのログをダウンロードしなかった場合も、ログは保存されています。そのセッションの開始時に発行された「認証コード」を用いるとログをダウンロードすることができます。

LOGONすると「ダウンロード認証コード」が表示されます。  
ログダウンロード時に必要となりますので、記録しておきます。



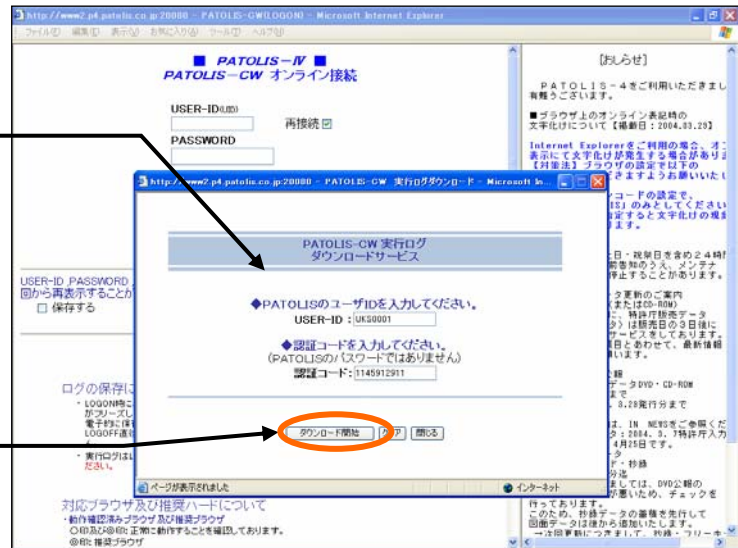
検索、出力等を行い、LOGOFF します。

PATOLIS- ホームページで  
再び PATOLIS-C/W を選択します。  
接続はせずに  
「直前のセッションの実行ログ  
のダウンロードはこちら」  
をクリックします。



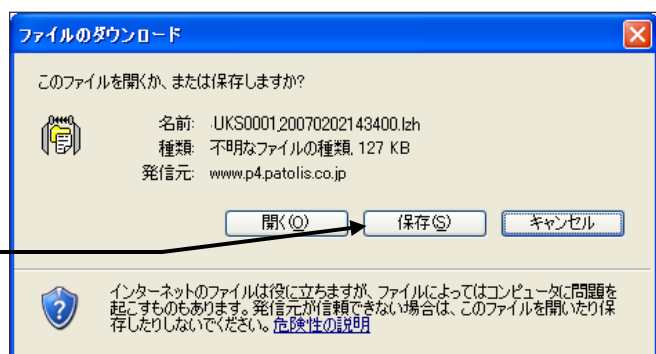
USER-ID と  
認証コード (前回 LOGON 時に  
表示されたもの) を入力します。

「ダウンロード開始」を  
クリックします。



この後は と同様に  
保存したファイルを解凍し、  
利用します。

ファイルを保存します。  
(操作はブラウザによります)



(2) 一時退避と再接続 (PATOLIS- C/W)

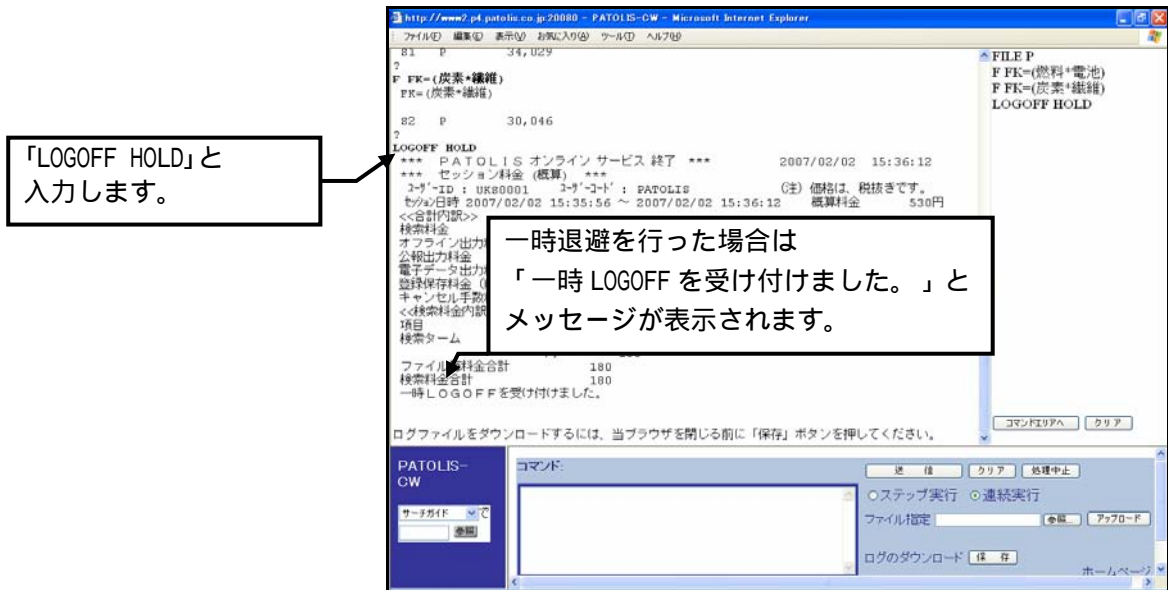
PATOLIS利用中に操作を中断する必要が発生した場合、利用者が一時退避操作を行うことにより3時間、そのセッションの履歴を保存します。

その後、再接続の操作を行うことにより、一時退避させたセッションを活かして操作を続けることができます。

一時退避のコマンドは LOGOFF HOLD です。再接続の際は、PATOLIS-C/Wオンライン接続 (LOGON) 画面の「再接続」のチェックボックスにチェックが入っていることを確認します。

【注意】

- ・ PATOLIS-Web、C/W、C/Tのサービスをまたがっての再接続はできません。
- ・ 一時退避 (一時LOGOFF) する前のログの保存 (ログのダウンロード) は、再接続より先に行う必要があります。再接続するとログのファイルはPATOLIS側で消去します。
- ・ 「再接続」にチェックをつけずに接続すると、保持していた全履歴情報はクリアされます。



「LOGOFF HOLD」と入力します。

一時退避を行った場合は「一時LOGOFFを受け付けました。」とメッセージが表示されます。

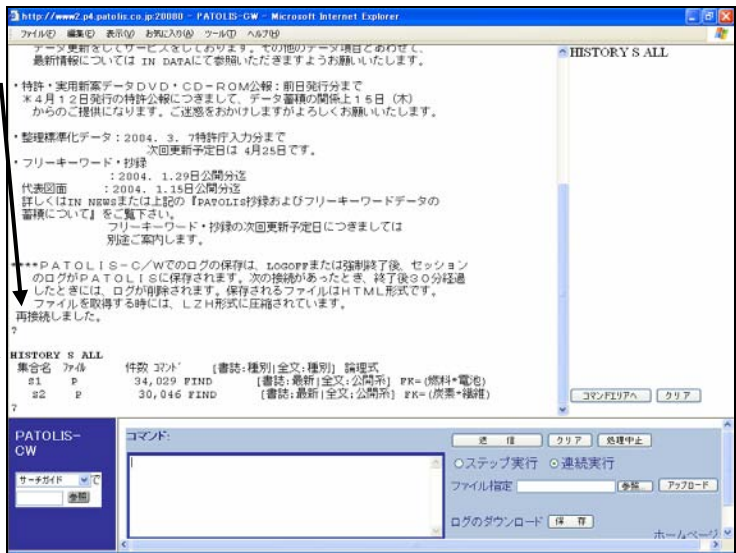
3時間以内に再接続します。一時退避前のログが必要なときはダウンロードしておきます。

PATOLIS-C/Wオンライン接続 (LOGON) 画面



再接続操作を行った場合、「再接続しました。」とメッセージが表示されます。

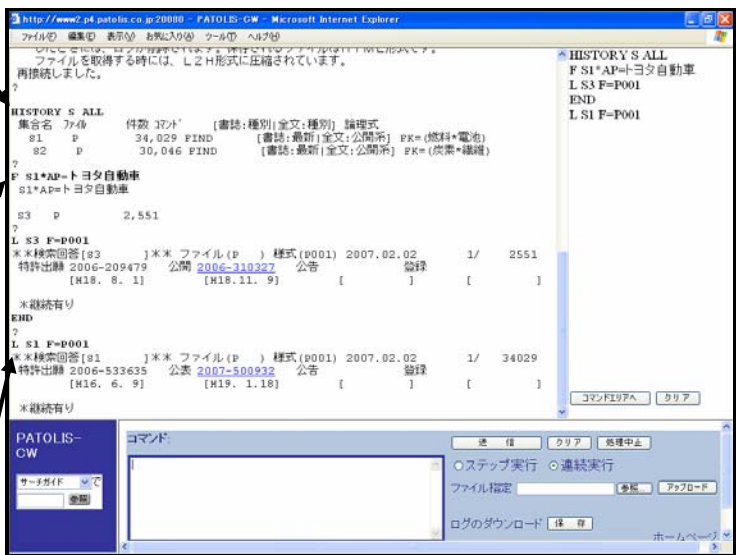
一時退避前の履歴を確認するためには HISTORY コマンドを  
 用います。  
 (詳細は C-8-2.履歴表示(コマンド:HISTORY))をご参照ください。  
 例) HISTORY S ALL



一時退避前と同じ操作で集合を利用できます。

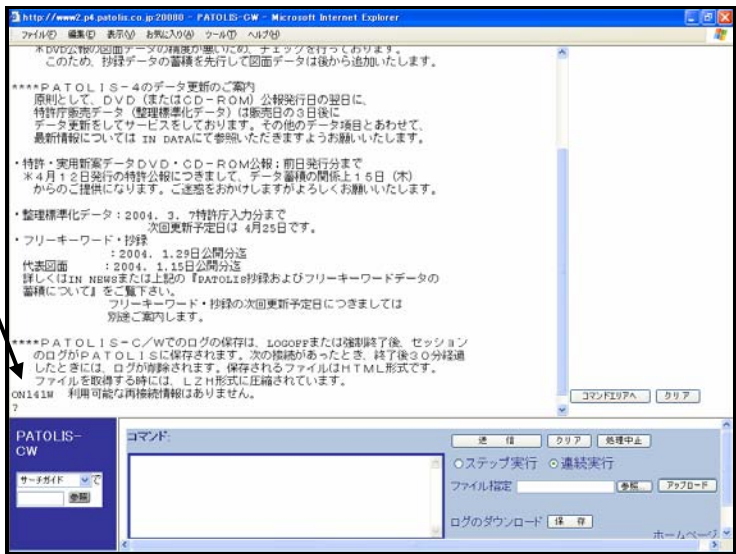
一時退避前の集合と他の条件を  
 合わせて検索できます。  
 (集合を用いた検索の詳細は、C-2-2-13.回答集合を利用した検索をご参照ください。)

一時退避前の集合を出力できます。  
 (出力方法の詳細は C-6.出力機能をご参照ください。)  
 例) LIST S1 F=P001



履歴が保持されなかった場合の画面

一時退避後 3 時間を超えた場合や、「LOGOF HOLD」コマンドを使用していなかった場合、回線切断後 10 分を超えた場合等、履歴が保持されていないときに、「再接続」にチェックをして接続した場合は「ON141W 利用可能な再接続情報はありません。」等のメッセージが表示されます。



### (3) 回線切断後の再接続 (PATOLIS-C/W)

通信回線の障害や、誤ってブラウザを閉じたことなどにより、突然接続が切れたときは、約3分後にPATOLIS側が異常終了を認識してセッション終了を行い、そのセッションの履歴を10分間保存します。

PATOLISによるセッション終了が行われる前にPATOLISに接続しようとする、「ON397E ALREADY USED THIS USER-ID.」のメッセージが表示されます。時間を置いて再度、接続操作をしてください。

切断する前に作成した検索結果集合や履歴を使って続きの操作を行うには、PATOLISによるセッション終了から10分以内に再接続操作を行います。

再接続の際は、PATOLIS-C/Wオンライン接続 (LOGON) 画面の「再接続」のチェックボックスにチェックが入っていることを確認します。

再接続後の操作は、一時退避後の再接続と同じです。(2)一時退避と再接続 をご参照ください。

#### 【注意】

- ・PATOLIS-Web、C/W、C/Tのサービスをまたがっての再接続はできません。
- ・切断する前のログの保存 (ログのダウンロード) は、再接続より先に行う必要があります。再接続するとログのファイルはPATOLIS側で消去します。
- ・「再接続」にチェックをつけずに接続すると、保持していた全履歴情報はクリアされます。

#### PATOLIS-C/Wオンライン接続 (LOGON) 画面

一時退避や回線切断で再接続を行う場合は、「再接続」にチェックが入っていることを確認します。

ユーザーコードは前セッションと同一でなくても結構です。

「接続開始」ボタンをクリックすると PATOLIS-C/W に接続します。

ログの保存について

- ・LOGON時に、実行ログ取得用の認証コードが発行されます。CWの操作中にブラウザやPC本体がフリーズしてしまった時に、後で実行ログを取得する時に使用します。紙などに書き留めるか、電子的に保存しておいてください。LOGOFF直後にブラウザを閉じないで実行ログを保存する場合には、認証コードは必要ありません。
- ・実行ログはLOGOFF後、30分間保持されます。30分を過ぎた時点で消去されますのでご注意ください。

(平成15年10月31日現在)

再接続操作を行った場合、「再接続しました。」とメッセージが表示されます。

\*\*\*\* PATOLIS-C/Wでのログの保存は、LOGOFFまたは強制終了後、セッションのログがPATOLISに保存されます。次の接続があったとき、終了後30分経過した場合は、ログが削除されます。保存されるファイルはHTML形式です。ファイルを取得する時には、LZH形式に圧縮されています。

再接続しました。

## B - 3 - 4 . 接続と終了 - PATOLIS- C/ T

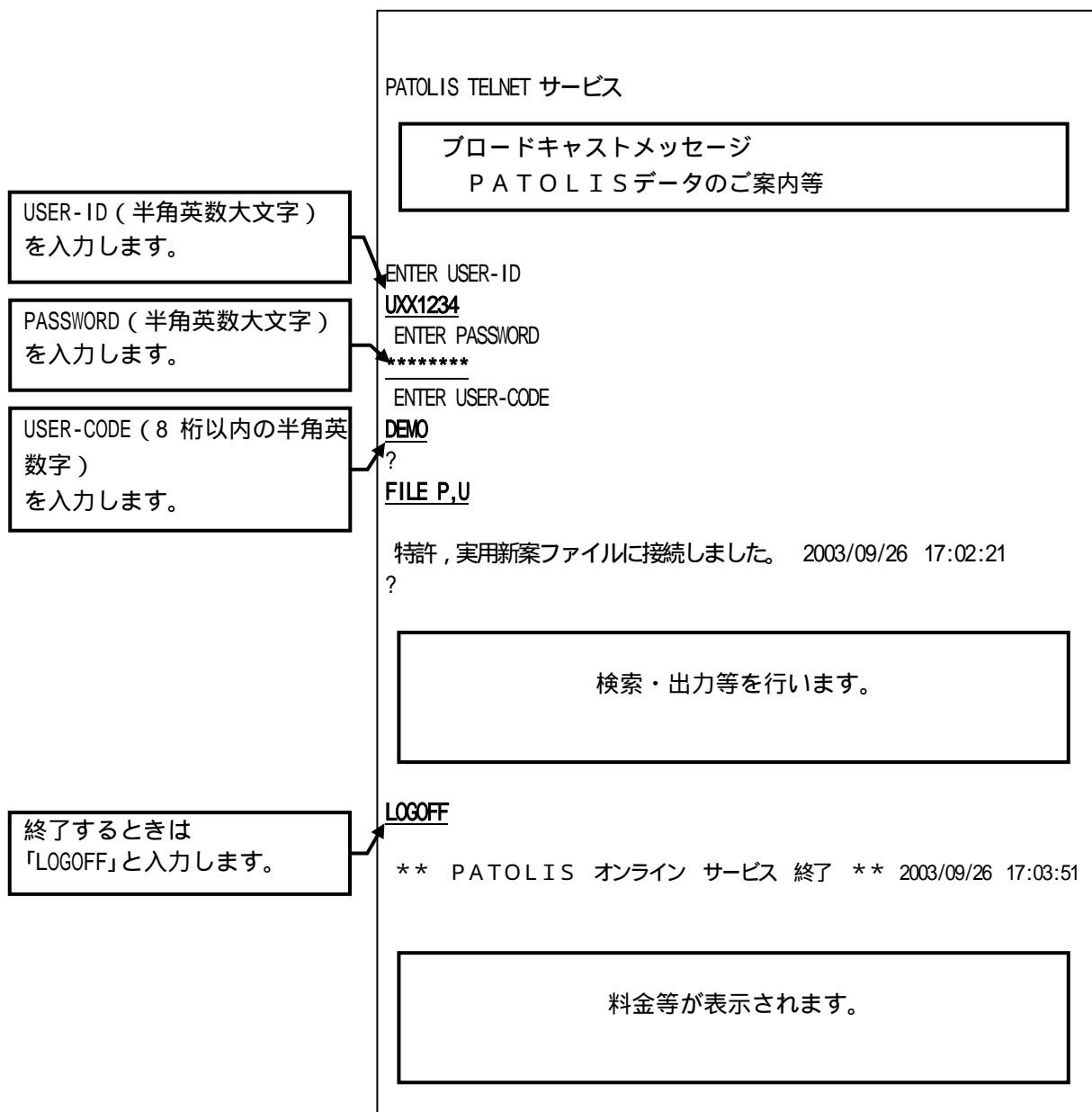
### ( 1 ) 接続と終了 ( PATOLIS- C/ T )

インターネットで telnet.p4.patolis.co.jp に接続

または

PATOLIS ネットワークで telnet.p4.patolis に接続した後、下記のようにして接続します。

( 下線の部分をご利用者が入力します)



この後、ダイヤルアップ接続している場合は、ダイヤルアップを切断します。

(2) 一時退避と再接続 (PATOLIS- C/T)

PATOLIS利用中に操作を中断する必要がある場合、利用者が一時退避操作を行うことにより3時間、そのセッションの履歴を保存します。

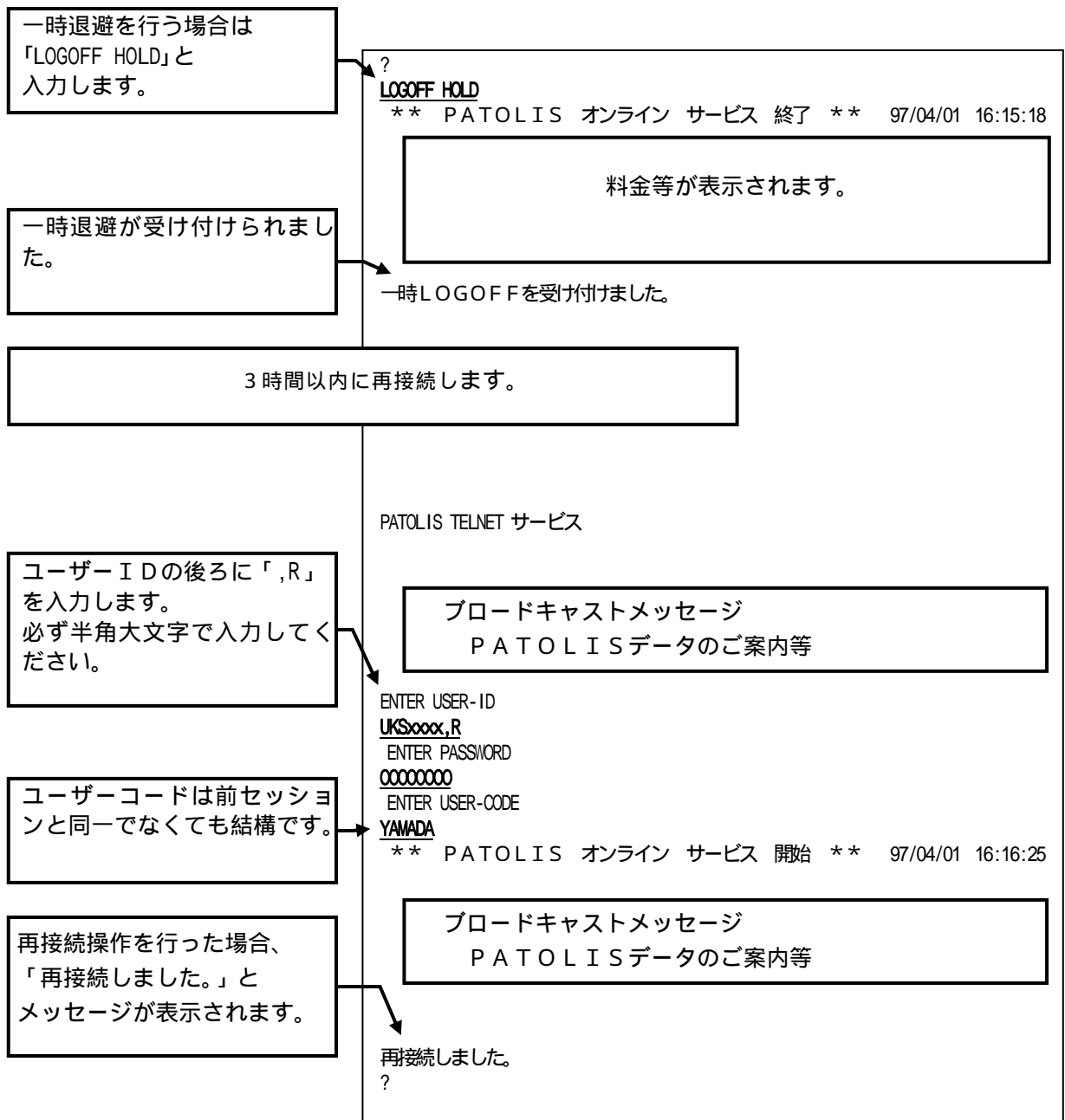
その後、再接続の操作を行うことにより、一時退避させたセッションを活かして操作を続けることができます。

一時退避のコマンドは LOGOFF HOLD です。

再接続のためには、ユーザーIDの後ろに「,R」を付けます。

【注意】

- ・PATOLIS-Web、C/W、C/Tのサービスをまたがった再接続はできません。
- ・「,R」を付けずに接続すると、保持していた全履歴情報はクリアされます。



一時退避前の履歴を確認するためには HISTORY コマンドを使います。  
 (詳細は C-8-2 .履歴表示(コマンド:HISTORY)) をご参照ください。  
 例) HISTORY S ALL

一時退避前と同じ操作で集合を利用できます。

一時退避前の集合と他の条件を組合わせて検索できます。  
 (集合を用いた検索の詳細は、C-2-2-13.回答集合を利用した検索 をご参照ください。)  
 例) FIND S1\*PD=2000?

一時退避前の集合を出力できます。  
 (出力方法の詳細はC-6.出力機能 をご参照ください。)  
 例) LIST S1 F=P001

```
再接続しました。
?
HISTORY S ALL
集合名 ファイル 件数 コマンド 論理式
S1 P 1 FIND PN=20001
?
FIND S1*PD=2000?
S1*PD=2000?
S2 P 1
?
L S1 F=P001
*検索回答[S1 ]** ファイル(P ) 様式(P001) 2005.02.24 1/ 1
特許出願 平10-168771 公開 2000- 1 公告 登録
[H10. 6.16] [H12. 1. 7] [ ] [ ]
?
```

一時退避後 3 時間を超えた場合や、「LOGOF HOLD」コマンドを使用していなかった場合、回線切断後 10 分を超えた場合等、履歴が保持されていないときに、「,R」を入力して接続した場合は「ON141W 利用可能な再接続情報はありません。」等のメッセージが表示されます。

```
ENTER USER-ID
UKSxxxx,R
ENTER PASSWORD
*****
ENTER USER-CODE
YAMADA
** PATOLIS オンライン サービス 開始 ** 97/04/01 16:16:25

ブロードキャストメッセージ

ON141W 利用可能な再接続情報はありません。
?
```

### ( 3 ) 回線切断後の再接続 ( PATOLIS- C/T )

通信回線の障害や、誤ってtelnetソフトを閉じたことなどにより、突然接続が切れたときは、約3分後にPATOLIS側が異常終了を認識してセッション終了を行い、そのセッションの履歴を10分間保存します。

PATOLISによるセッション終了が行われる前にPATOLISに接続しようとする、「ON397E THIS USER-ID IS ALREADY USED.」のメッセージが表示されます。時間を置いて再度、接続操作をしてください。

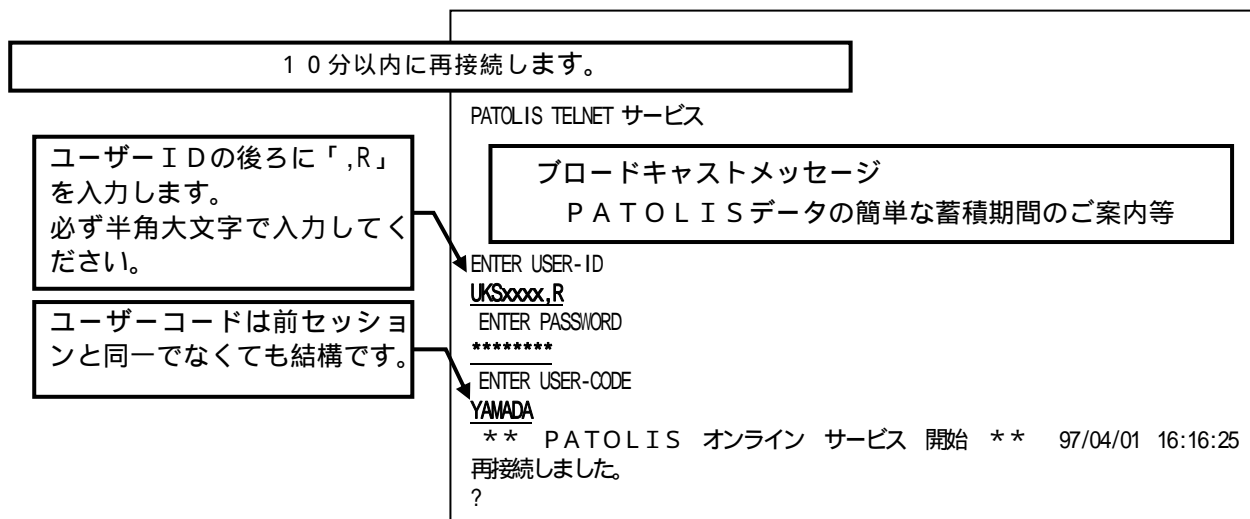
切断する前に作成した検索結果集合や履歴を使って続きの操作を行うには、PATOLISによるセッション終了から10分以内に再接続操作を行います。

再接続のためには、ユーザーIDの後ろに「,R」を付けます。

再接続後の操作は、一時退避後の再接続と同じです。(2)一時退避と再接続 をご参照ください。

#### 【注意】

- ・PATOLIS-Web、C/W、C/Tのサービスをまたがった再接続はできません。
- ・「,R」を付けずに接続すると、保持していた全履歴情報はクリアされます。



## B - 3 - 5 . セッションの強制終了

### ( 1 ) 端末放置

30分間端末を放置すると、「30分未入力状態が続いたため、セッションを終了します。」のメッセージとともに、強制的にセッション終了の処理がとられます。  
端末放置により PATOLIS との接続が終了した場合、履歴情報はクリアされます。

### ( 2 ) 長時間検索

PATOLIS での一回の検索時間は最大60分となっています。  
一つの検索実行が60分を超えますと、「処理中に異常が発生しました。」のメッセージとともに、強制的にセッション終了の処理がとられます。  
長時間検索により PATOLIS との接続が終了した場合、履歴情報はクリアされます。